

教育学部

学部のアドミッション・ポリシー(AP:入学者受入の方針)

<求める入学者像>

1. 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。

(知識・理解)

- ①高等学校で履修する国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(知識・理解、技能)

- ②教員養成カリキュラムを履修するのに必要な、教科にかかわる知識や、スポーツ、音楽、造形などの実技能力を有している。

(思考・判断・表現)

2. 物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

(興味・関心・意欲)

3. 子どもの育ちや教育にかかわる諸問題に深い関心を持ち、教師として社会に貢献する意欲を明確に有している。

(態度)

4. 積極的に他者とかわり、対話を通して相互理解に努めようとする態度を有している。

学部のカリキュラム・ポリシー(CP:教育課程編成・実施の方針)

教育学部は、豊かな人間性と優れた実践的指導力を兼ね備えた教員を輩出することにより社会に貢献するため、次のような方針に基づいてカリキュラムを編成しています。

関係分野の専門的学識・技能を修得するための科目と、初年次から体系的な実践・省察を重視した実習カリキュラムを用意しています。これらにより、学生は理論を学び、実践の場でその活用を試み、他者との交流を通じた省察によって真摯に自らを振り返り、さらに関心・意欲を高め、学びを深めていきます。

学部のディプロマ・ポリシー(DP:卒業認定・学位授与の方針)

<学部の教育理念と教育目的>

学校教育は、社会の発展を牽引する人材を育成するための中心的な機能です。教育学部は、その学校教育を支える優れた教員を輩出することにより社会に貢献することを使命としています。

教育学部は、初等教育コース(幼稚園・小学校教員)と中等教育コース(中学校・高等学校教員)からなる学校教育教員養成課程と特別支援教育教員養成課程とからなり、実践的なカリキュラムと、相互に尊重し啓発しあう学びを保障することで、確かな教育実践力と豊かな人間性を兼ね備えた学校教員を養成します。

<学習の到達目標>

(知識・理解)

1. 教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。

(技能)

2. 教育活動に取り組むための十分な技能を身につけている。

(思考・判断・表現)

3. 教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方策を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。

(興味・関心・意欲、態度)

4. 教師としての使命感や責任感を持ち、自己の課題を明確にして理論と実践とを結びつけた主体的な学習ができ、自主的に社会に貢献しようとする。